

## 磐梯山の火山活動解説資料（平成 25 年 10 月）

仙台管区气象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図 1、図 3、図 4 ①）

剣ヶ峯（山頂の北約 7km）に設置してある遠望カメラによる観測では、山体北側火口壁からの噴気の高さは 1 日と 21 日に一時的に 100m となりましたが、それ以外は概ね 50m 以下と噴気活動は低調に経過しました。

21 日に東北地方整備局福島河川国道事務所の協力により実施した上空からの観測では、沼ノ平及び山体北側火口壁噴気地帯の噴気の状況に特段の変化は認められませんでした。

#### ・地震や微動の発生状況（図 4 ②～⑥）

火山性地震は少ない状況で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

#### ・地殻変動の状況（図 5）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状況（10 月 21 日 16 時 14 分頃）

- ・ 剣ヶ峯（山頂の北約 7km）に設置してある遠望カメラの映像です。
- ・ 実線赤丸で囲んだのが、山体北側火口壁からの白色噴気で高さは 100m です。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 25 年 11 月分）は平成 25 年 12 月 9 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

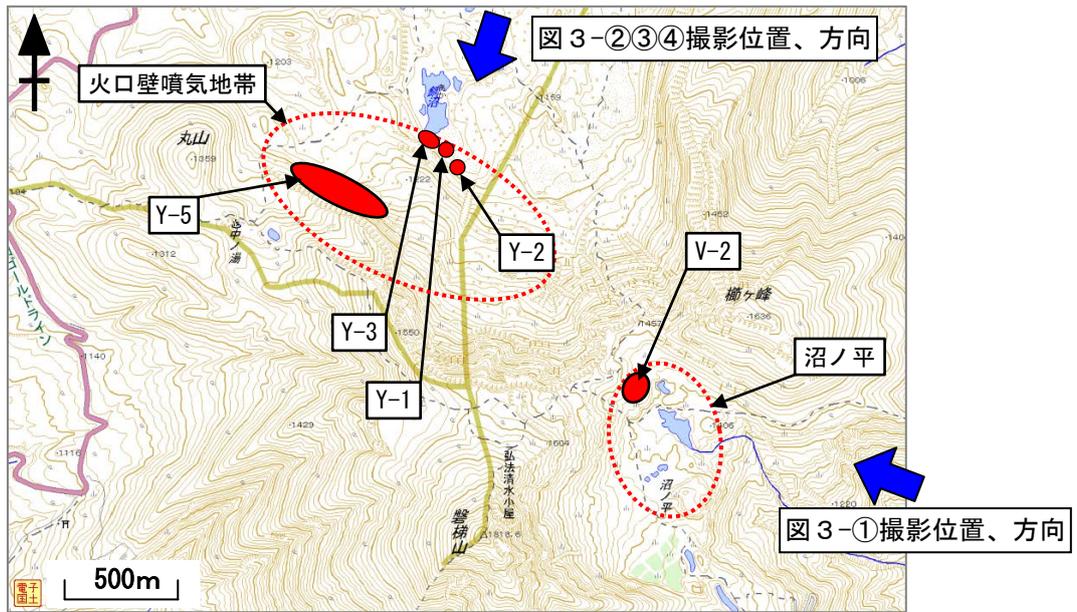


図2 磐梯山 山体北側火口壁噴気地帯の観測ポイントと可視画像撮影位置



図3 磐梯山 山体北側火口壁噴気地帯の可視画像

- ・③、④は②のそれぞれの少矩形の拡大画像です。
- ・2013年10月21日に東北地方整備局福島河川国道事務所の協力により実施した、上空からの観測では、Y-2、Y-3で30m、Y-5で10mの白色噴気を観測し、噴気の状態に特段の変化がないことを確認しました。

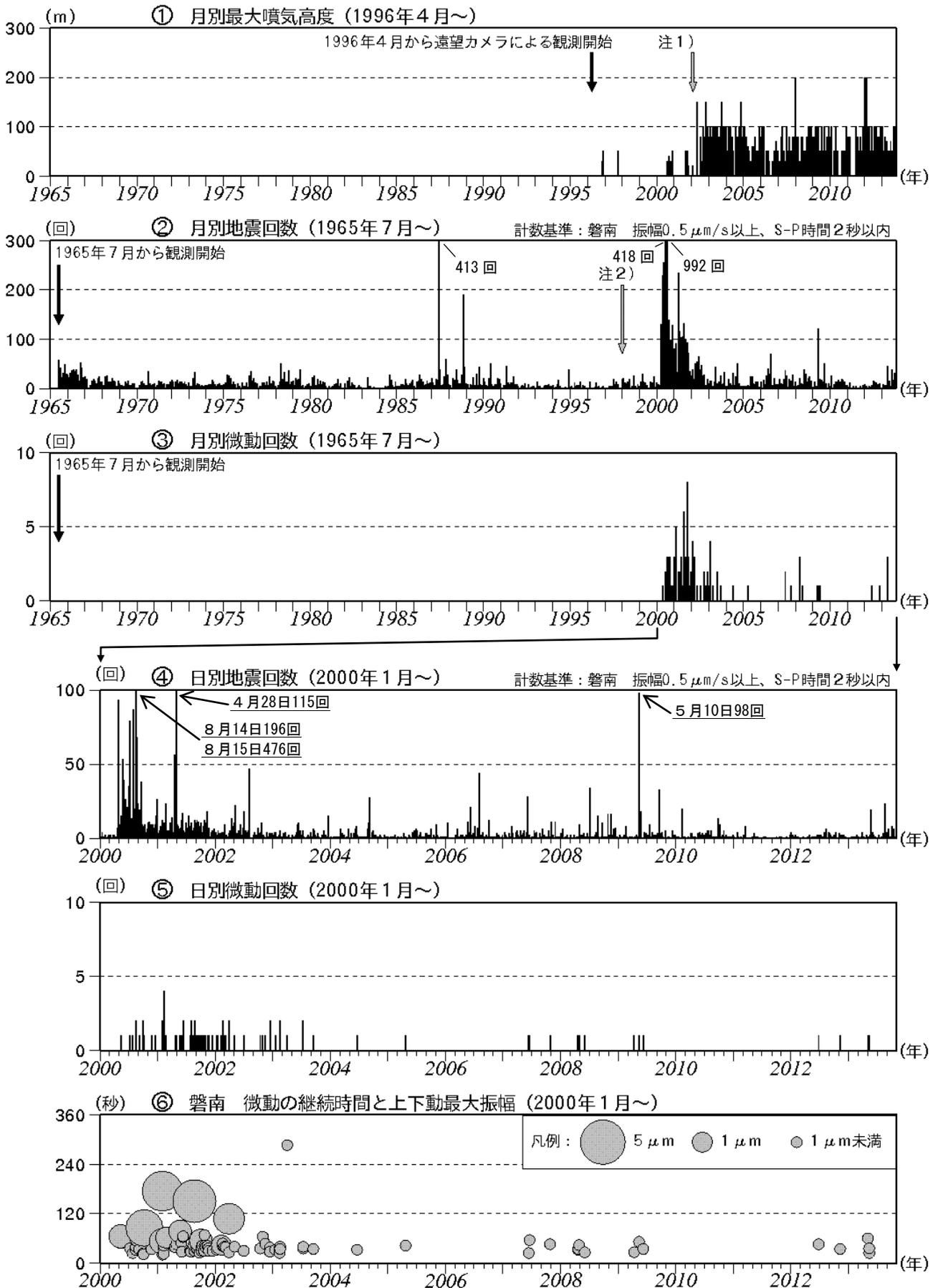


図4 磐梯山 火山活動経過図 (1965年7月～2013年10月)

- ①注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。
- ②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以内からS-P2秒以内に変更しました。

「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」

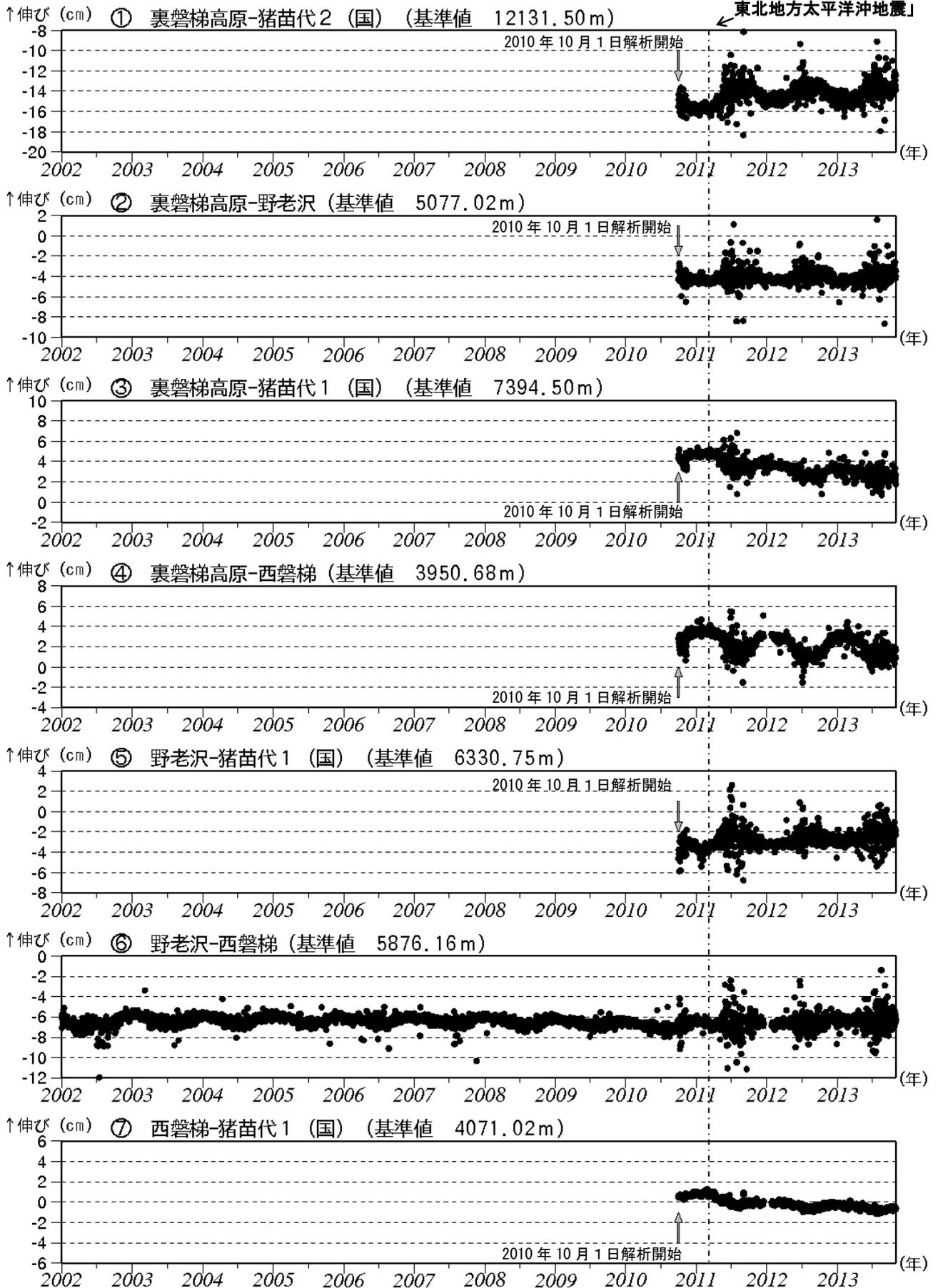


図5 磐梯山 GPS 基線長変化図 (2002 年 1 月～2013 年 10 月)

- ・ 2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
- ・ 「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・ ①～⑦は図7の GPS 基線①～⑦に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。

(国) : 国土地理院

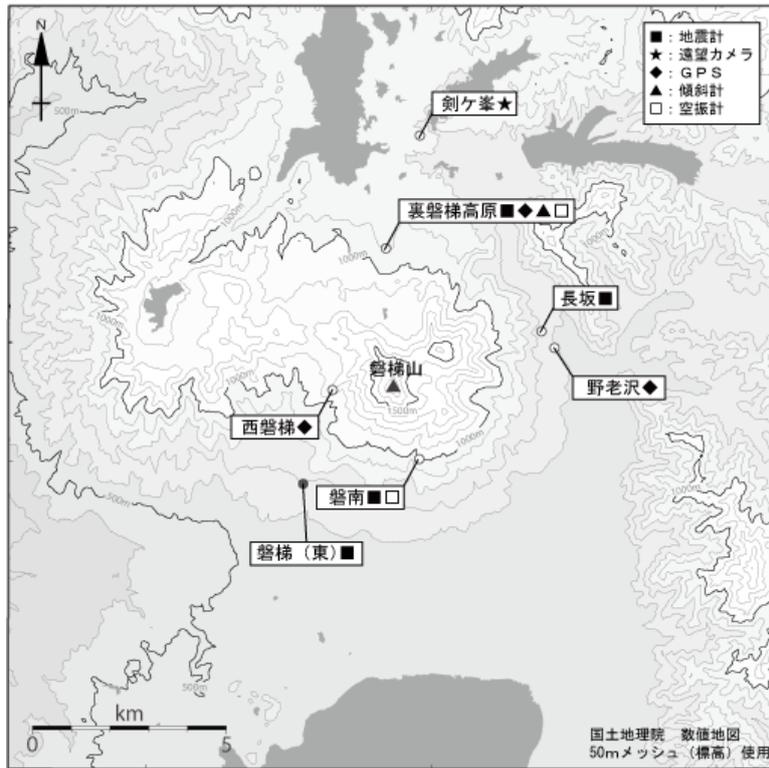


図6 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(東) : 東北大学

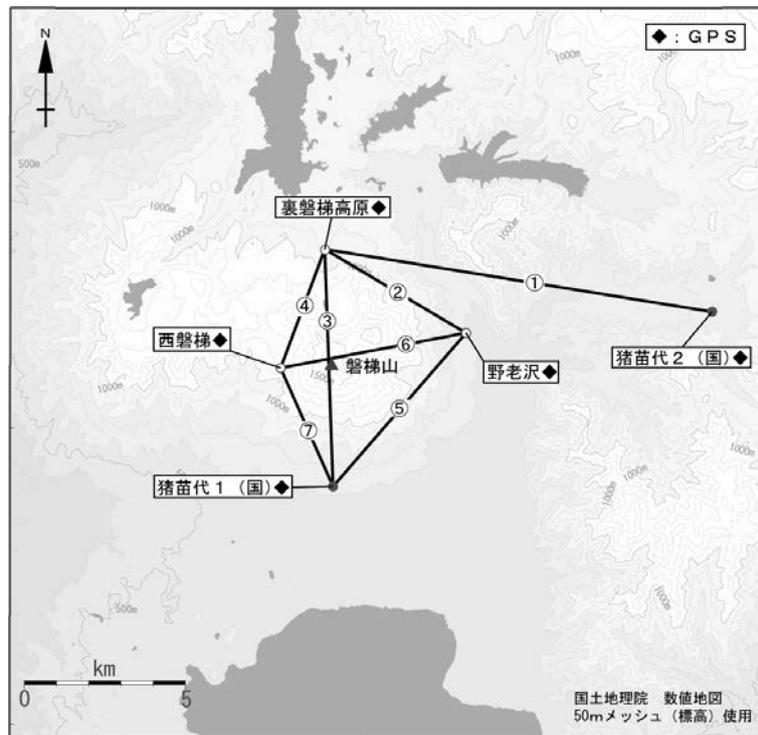


図7 磐梯山 GPS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
(国) : 国土地理院